

教科	科 目	対象学年学科	単位数	教 科 書	使 用 教 材
保健体育	保 健	2年普通科 2年国際科 2年農業環境科 2年福祉科	1単位	現代高等保健体育 (大修館)	現代高等保健ノート (大修館)

到達目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
------	---

	①知識及び技能	②思考・判断・表現等	③学びに向かう力、人間性等
評価の観点	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

学習の評価	・定期考査で①知識及び技能について、学習状況で①②③を加味し総合的に評価する。
-------	---

単 元	学 習 内 容	到 達 目 標
生涯を通じる健康	・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活	・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。 ・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。 ・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。
健康を支える環境づくり	・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動 ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医療品の制度とその活用 ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加	- 大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 - 大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。 - 環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 - ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 - 上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 - 食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 - 保健行政の役割について例をあげて説明できる。 - わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 - 医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。 - 国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 - 行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。 - 健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 - 環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。